

大阪府結核対策推進計画の進捗状況

目標

全大阪：政令市、中核市を含むすべて
 大阪府：大阪市、堺市除く
 府保健所：大阪市、堺市、高槻市、東大阪市を除く
 *23年の統計まで、豊中市は大阪府に含む

【発生の予防・まん延の防止】

1. 結核罹患率 23.1 (全大阪) 図1
 平成22年 29.9
 平成23年 28.0
 平成24年 27.3 (速報値)

2. 結核にかかる定期健康診断の受診の向上 (大阪府とは政令市・中核市を除いたもの)

種別	H21	H22	H23					全大阪
			大阪府	大阪市	堺市	高槻市	東大阪市	
病院	91.7%	94.7%	100.0%	12.8%	88.6%	100.0%	52.0%	66.3%
診療所(医科)	14.0%	12.9%	23.3%	2.9%	5.4%	30.1%	8.5%	13.1%
学校	72.4%	82.2%	97.8%	11.9%	99.5%	92.6%	18.3%	64.1%
高齢者施設	74.1%	74.0%	88.1%	12.5%	96.8%	93.1%	32.3%	69.9%

24年度は、府・5市で情報交換をし、健診報告率の向上に向けて働きかけを強化している。

3. 接触者健診実施率 初回健診受診率 100% 図16
 (府保健所) 平成21年 98.4%
 平成22年 98.3%

【適切な医療の提供】

1. 必要な結核病床の確保と患者中心の医療提供体制の構築

- ・結核基準病床数の考え方を見直し、医療計画に反映
- ・地域連携のために、服薬手帳を府・5市で共通のものとし、地域の医療機関での継続治療をスムーズに行えるように変更
- ・25.4~の精神医療センターでの陰圧病室の利用可能
- ・国に対し、国立病院での病床維持のための方策を継続して要望

2. 全結核患者のDOTS実施率 95%以上 図14
 (府保健所) 平成21年 97.0% (喀痰塗抹陽性患者のみ)
 平成22年 98.3% (喀痰塗抹陽性患者のみ)

大阪府は、平成25年1月新登録患者から全結核患者を対象として実施する
 (東大阪市保健所を除き、全結核患者を対象とできていなかった)

3. 肺結核患者の再治療率 7%以下

図3

大阪市10%程度、堺市5-9%、その他の大阪府8-10%の再発率である再発を念頭に置いての、DOTS支援の強化が必要

4. 全結核患者治療失敗、脱落率 5%以下

図10

(府保健所) 平成21年 3.2%
平成22年 3.7%

5. 潜在性結核感染症患者の治療完了率 90%以上

(府保健所) 平成21年 88.8%
平成22年 88.2%

6. 結核患者発生届出率 1日以内(診断日)100%

(府保健所) 平成21年 69.4%
平成22年 74.4%